

変化するビジネスの要件を満たし、リスクとコストを削減



Information Management



IBM DB2 pureScale

超大規模構成での高い処理能力と連続稼働

今日のビジネス環境では、敏しょう性がすべてです。グローバル化した世界では、ビジネスが立ち止まることはありません。—重要なシステムの可用性に少しでもギャップがあれば、何億円もの損失が生じ、顧客の信頼が損なわれる可能性があります。さらに、機会への投資は、しばしば主要なアプリケーションを迅速かつ確実に拡張する能力に左右されます。

分散システム上でオンライン・トランザクション処理 (OLTP) のアプリケーションを実行する組織を対象にした IBM® DB2® pureScale™ は、アプリケーションに手を加えずに高い可用性と類まれな拡張性を提供するクラスタリング技術です。DB2 pureScale は、IBM DB2 for z/OS®の技術が基になっており、IBM DB2 9.7 Enterprise Server Edition 上のオプションとして利用できます。

お客様のビジネスとともに成長

DB2 pureScaleは、予期せぬ障害が発生しても処理を継続するようにデータベースを使用可能にし、多量のトランザクションに対しても無限の処理能力を提供します。システムの拡張は、新しいノードを接続し、2つの簡単なコマンドを発行するだけの作業です。また、DB2 pureScale のクラスターベースの共有ディスク・アーキテクチャーは、システム資源を効率的に使うことでコスト削減に貢献します。DB2 pureScaleを使えば、OLTPシステムを拡張して最も厳しいビジネスニーズを満たせると同時に、データ管理コストを抑制できます。

アプリケーションの変更なしの即時拡張

トランザクションのアプリケーションが拡張される際には、この情報を格納するデータベースも、アプリケーション利用に合わせて拡張し、ビジネスがスムーズに進み続けるよう、保証しなければなりません。しかし、基幹データベース・サーバを加える際は考慮が必要です。なぜなら、多くの場合新しい資源を利用するよう構成した後、最大効率を達成するようにアプリケーションをチューニングしなければならないからです。





他の分散型の共有ディスク・データベースのクラスター技術とは異なり、DB2 pureScale を使用すれば、管理者はデータベースを拡張する際に複雑な調整を行ったり、アプリケーション・コードを更新したりする必要がありません。アプリケーションの柔軟なワークロード・バランシング機能やグルーピング機能により、複数のサーバーが 1 つのデータベースに見え、また新しいノードもすぐに利用可能になります。これにより、展開の複雑さが軽減され、コスト削減につながります。

ダウンタイムを避ける

基幹アプリケーションが数分ダウンしただけで、企業が多大な損失を被る可能性があります。ダウンタイムを避けることは、オンデマンドの世界で競争優位に立つための重要な要素です。

分散型の共有ディスク・データベース・クラスターには、ノード障害の後処理を再開するまでに数分間かかるものもあります。しかし、DB2 pureScale は、ノード障害の場合でも操作を続け、性能を低下させることなくデータ整合性を維持するように、設計されています。集中ロッキング管理およびキャッシュ管理により、クラスターに残るノードは重要な情報にすぐにアクセスし、追加で生じるワークロードを直ちに吸収できます。クラスターが数秒のうちに再調整するので、追加の作業負荷が拒否されることはありません。計画停止の間、管理者はクラスターの可用性に影響を与えることなく、個々のノードで定期的にメンテナンスを行うことができます。

真の拡張性を実現する、クラスタリング・アーキテクチャー

クラスター化されたサーバーの高い利用率が達成されるように設計された DB2 pureScale アーキテクチャーは、ワークロードが複数のノードに分散された後、アプリケーションが拡張性の限界に当たらないことを保証します。ほぼリニアな拡張性や最大スループットを提供し、ソフトウェアのライセンス・コストや、電力および冷却費用を削減できます (図1参照)。

また DB2 pureScale は UNIX® サーバー売上げシェアで世界のリーダーである IBM Power Systems™ を活用することにより性能が向上します。¹ メインフレームにおける IBM の成功にヒントを得た信頼性と仮想化から、固有の省エネルギー機能まで、Power Systems は 24 時間利用可能な費用対効果の高いインフラストラクチャーの構築をサポートします。Power Systems 上の DB2 pureScale は、PowerHA™ pureScale 技術を組み込み、他の UNIX または x86 システム上では実現できない類まれなレベルのデータベース拡張性と可用性を提供します。

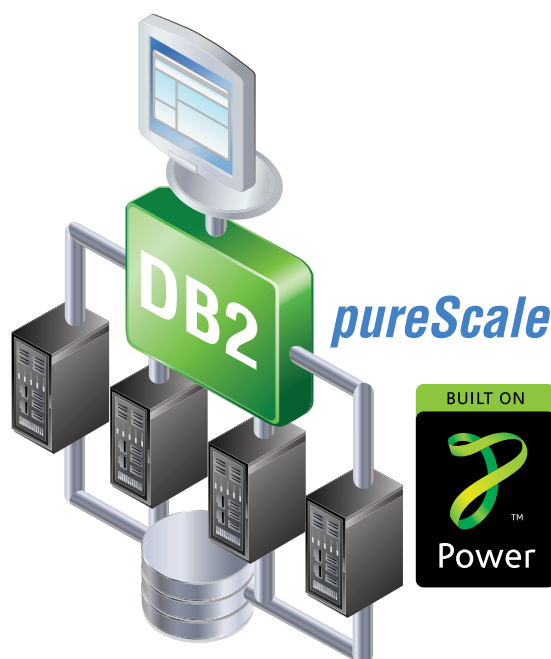


図1: DB2 pureScale は、ほぼリニアな拡張性や最大スループットを提供し、ソフトウェアのライセンス・コストや、電力および冷却費用を削減するよう、設計されています。





簡単なインストールとモニタリングにより、データベース管理も容易に卓越した拡張性、可用性、そして高パフォーマンスを実現すると同時に、DB2 pureScale はデータベース管理やクラスタリング管理を簡素化するように設計されています。ノードはクラスタに容易に追加したり削除できるので、IT 担当者は、変化するビジネス要件を満たすよう、クラスタを素早く拡大、縮小できます。

また、DB2 pureScaleは、すべてのソフトウェア・コンポーネントを1回のプロセスでインストールできます。すなわち、インストールの自動セットアップに必要なすべてのツールが1つにまとまっています。

スムーズな拡張性が、最高の顧客満足を獲得します。

顧客要求に従ってトランザクション・データベースを拡張する能力は、新たなビジネス機会への投資を試みる企業にとって不可欠です。DB2 pureScale は、無限の拡張性、アプリケーションの透過性および連続可用性を通じてこの機能を提供し、コストを削減できます。

さらに詳しい情報は

IBM DB2 pureScale についてもっと詳しくお知りになりたい方は、IBM の営業担当または IBM ビジネスパートナーまでご連絡いただくか、ibm.com/software/jp/data/db2/v9/purescale/ をご参照ください。

詳細情報

お問い合わせは、IBMビジネス・パートナーもしくは弊社営業担当員へご連絡願います。法人のお客様のお見積依頼やご購入に関するお問い合わせは、IBMソフトウェア・ダイレクト(Tel:0120-450-260)をご利用いただけます。音声ガイドに従い、お電話のプッシュダイヤル²を押してください。受付時間：月～金09:30～12:00、13:00～17:30(土・日・祝日および12月30日～1月3日を除く)。その他の場合は、ibm.com/software/contactus を参照のうえ、お問い合わせください。

@Copyright IBM Japan, Ltd. 2010

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

Produced in Japan
January 2010
All Rights Reserved

¹ IDC Worldwide Quarterly Server Tracker Q2 2009、
2009年9月

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、DB2、Power Systems、PowerHA、pureScale および z/OS は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。上記およびその他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示（*または™）が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBMが所有する登録商標または慣習法上の商標であることを示しています。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

UNIX は、米国およびその他の国における The Open Group の登録商標です。

製品、プログラム、またはサービスについては、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。IBM の将来の方向性および指針に関するすべての記述は、予告なく変更または撤回する場合があります。これらは目標および目的を提示するためにのみ使用しています。

日本 IBM のハードウェア製品は、新部品のみ、または新部品と再生部品の組み合わせにより製造されています。場合によっては、ハードウェア製品が新品ではなく、以前設置されていたものであることもあります。ただし、いずれの場合であれ、IBM 所定の保証が適用されます。



IDB1000101 IMB14061-JPJA-00